富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山湾のウバウオ科魚類

著者	南部 久男, 林 公義
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	32
ページ	121-123
発行年	2009-02-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=888

富山市科学博物館研究報告第32号，pp.121-123；(2009)

短　報

富山湾のウバウオ科魚類*

南部久男[1)]・林　公義[2)]

[1)] 富山市科学博物館，939-8084富山市西中野町1-8-31

[2)] 横須賀市自然・人文博物館，238-0016横須賀市深田台95

Records of clingfishes in Toyama Bay, Japan.

[1)] Hisao Nambu and [2)] Masayoshi Hayashi

[1)] Toyama Science Museum; 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan, [2)] Yokosuka City Museum; 95 Fukadadai, Yokosuka-shi, Kanagawa Pref. 238-0016, Japan

富山湾（湾奥部の富山県側）の魚類相については，古くは菊池（1931），片山（1940），津田（1973）等の目録があり，1990年代以降では，魚津水族館（1997）の希少魚を中心とした目録等がある。坂井（1998, 2005）は，能登半島（富山湾を含む）の魚類目録を報告している。富山市科学博物館（旧富山市科学文化センター）の収蔵標本に基づく富山湾の魚類の目録としては，ハゼ科，クサウオ科，ゲンゲ科，カレイ目の報告がある（南部・林, 1990；南部・木戸, 1990a, b;南部ら1992)。今回，富山市科学博物館収蔵の富山湾産ウバウオ科魚類を調査したので報告する。

方法

富山市科学博物館に収蔵している富山湾産ウバウオ科魚類標本8個体を調査した。ウバウオ科魚類の種の同定は，林（2000）に従った。

結果及び考察

標本調査の結果，次の2種のウバウオ科魚類が確認された（表１)。

スズキ目　Order　Perciformes

　ウバウオ亜目　Suborder　Gobiesocidei

　　ウバウオ科　Family　Gobiesocidae

１．ツルウバウオ　*Aspasmichthys ciconiae*（Jordan et Fowler）

２．ウバウオ　*Aspasma minimum*（Döderlein）

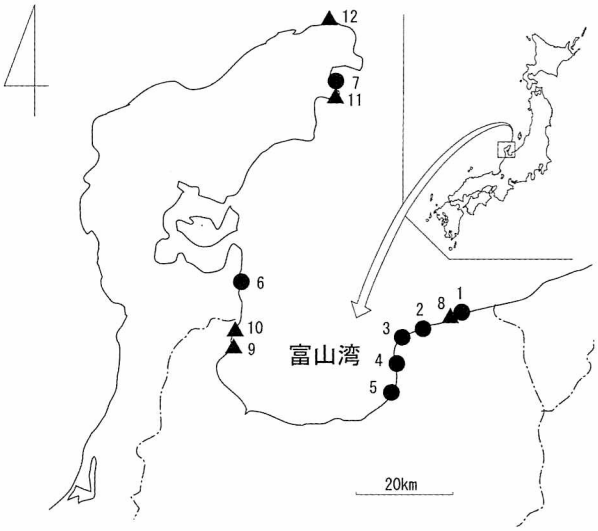


図１　富山湾のツルウバウオとウバウオの確認地点。
ツルウバウオ（●):1朝日町宮崎漁港(本報告)，2入善町目川（本報告)，3入善町園家山，4黒部市石田漁港，5魚津市諏訪町（魚津水族館，1997)，6七尾市百海(坂井・福島，1997)，7珠洲市恋路(坂井・山本，1996；坂井，1998)．ウバウオ（▲):8朝日町宮崎漁港(本報告)，9氷見市大境，10氷見市脇（本報告)，11能登町越坂・九十九湾（坂井，1998, 2005）12珠洲市木ノ浦（坂井，1998)．



図２　ウバウオが確認された朝日町宮崎漁港

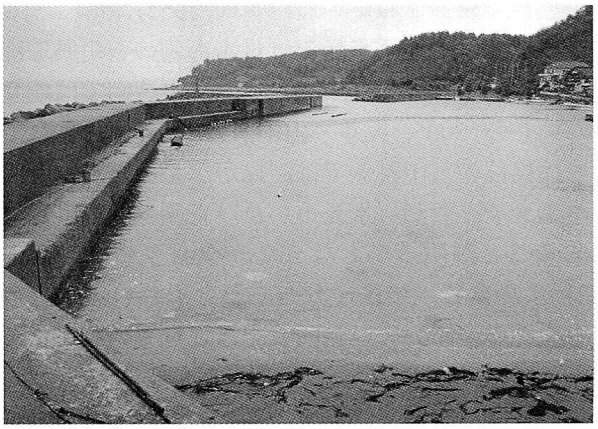


図３　ウバウオが確認された氷見市大境漁港

＊富山市科学博物館研究業績第369号

表１　富山湾産ウバウオ亜目魚類

和名	登録番号[1)]	確認場所	採集年月日	全長(TL)	体長(SL)
ツルウバウオ	TOYA-Pi-487	朝日町宮崎漁港（水深30～50cmの傾斜地）	1982年9月25日	21.0mm	17.9mm
	TOYA-Pi-488	入善町目川(波消しブロックに付着している海藻中)	1983年9月21日	23.2mm	19.2mm
ウバウオ	TOYA-Pi-9064	朝日町宮崎漁港（水深30cmのブロックの傾斜地の海藻中。図2）	2008年11月15日	33.8mm	29.2mm
	TOYA-Pi-489	氷見市脇	1982年9月6日	21.7mm	18.9mm
	TOYA-Pi-491	氷見市脇	1982年9月6日	16.4mm	14.3mm
	TOYA-Pi-490	氷見市大境漁港(岸壁の海藻中)	1982年9月6日	22.2mm	19.1mm
	TOYA-Pi-9062	氷見市大境漁港（岸壁の海藻中。水深約50cm。）	1982年9月6日	18.3mm	16.1mm
	TOYA-Pi-9061	氷見市大境漁港（突堤岸壁下の海藻中。水深約50cm。図3）	2008年10月11日	25.9mm	23.0mm

1）TOYA－Pi：富山市科学博物館魚類標本登録番号。採集者は全て南部久男。

日本近海では，11種のウバウオ科魚類が記録され，日本海ではツルウバウオが新潟県以南に，ウバウオが青森県以南に分布し，これら２種に加えミサキウバウオ　*Lepadichthys frenatus* Waiteが島根県以南に分布している（林，2000）。

今回の標本調査で確認されたツルウバウオは，能登半島では石川県能登町（坂井・山本，1996；坂井，1998），七尾市（坂井・福島, 1997）で報告されている（図１）。湾奥部の富山県の東側では，入善町，黒部市，魚津市で報告され（魚津水族館, 1997），今回東側の朝日町でも記録され，東側に広く分布していることが明かとなった。ツルウバウオは富山湾（能登半島含む）に広く分布すると思われるが，湾奥部の富山県西側の海岸では記録されていないことより，今後この海域での調査が必要である。なお，ツルウバウオは新潟県では佐渡島で記録されている（本間, 1955）。

ウバウオは，能登半島では日本海側の石川県珠洲市（坂井・山本, 1996; 坂井, 1998），富山湾側では能登町（坂井, 1998, 2005; 坂井・山本, 1996）で記録されている。湾奥部の富山県側では記録がなかったが，今回の標本調査で，西側（氷見市）及び東側（朝日町）に生息することが明らかとなった。ウバウオは，富山湾（能登半島含む）に広く分布すると思われるが，富山県中央部の海岸の広い範囲で記録されていないことより，今後この海域での今後の調査が必要である。なお，ウバウオは新潟県では佐渡島で記録されている（本間ら, 1972）。

謝辞

文献をご教示いただきました蓑輪一博氏（柏崎市立博物館）に厚くお礼申しあげます。

参考文献

林公義, 2000. ウバウオ亜目, ウバウオ科. 日本産魚類検索-全種の同定, 第2版(中坊徹次編). 東海大学出版会：LVI+1748pp.

本間義治, 1955. 新潟県魚類目録補訂（Ⅲ）. 魚類学雑誌. 4(4/5/6): 223-228.

片山正夫, 1940. 富山湾産魚類目録. 富山博物学会誌. (3): 53-80.

本間義治・水沢六郎・沖山宗雄, 1972. 新潟県魚類目録補訂（Ⅸ）日本生物地理学会会報. 28(4): 47-57.

菊池勘左衛門, 1931. 富山湾生物調査目録第3回報告. 富山教育. (206): 1-34.

南部久男・林 公義, 1990. 富山湾におけるハゼ科魚類の記録. 富山市科学文化センター研究報告. (13): 113-116.

南部久男・木戸芳, 1990a. 富山湾産クサウオ科魚類. 富山市科学文化センター研究報告. (13): 107-111.

南部久男・木戸芳, 1990b. 富山湾産ゲンゲ科魚類. 富山市科学文化センター研究報告. (16): 43-45.

南部久男・矢部衛・木戸芳, 1992. 富山湾産カレイ目魚類. 富山市科学文化センター研究報告. (14): 63-72.

坂井恵一・山本邦彦, 1996.能登半島浅海域における魚類の研究—Ⅰ. のと海洋ふれあいセンター研究報告. (2): 91-97.

坂井恵一・福島広行, 1997. 能登半島の3海域でみら

れた魚類と海産無脊椎動物. のと海洋ふれあいセンター研究報告. (3): 33-42.
坂井恵一, 1998. のと海洋ふれあいセンターに収蔵されている魚類標本. のと海洋ふれあいセンター研究報告. (4): 45-61.
坂井恵一, 2005. のと海洋ふれあいセンターに収蔵されている魚類標本Ⅱのと海洋ふれあいセンター研究報告. (11): 9-22.
津田武美, 1973.日本海の魚-目録・分布と考察. 34pp. (自費出版)
魚津水族館, 1997. 富山湾産魚類リストおよび富山湾産希少魚類の採集記録. 79pp+Ⅷ.